

山ごころ



吉本  
隊員

大滝せせらぎ

里ごころ



佐俣  
隊員

はたおと秩父

秩父市

地域おこし

協力隊  
友より

三月号

No.28

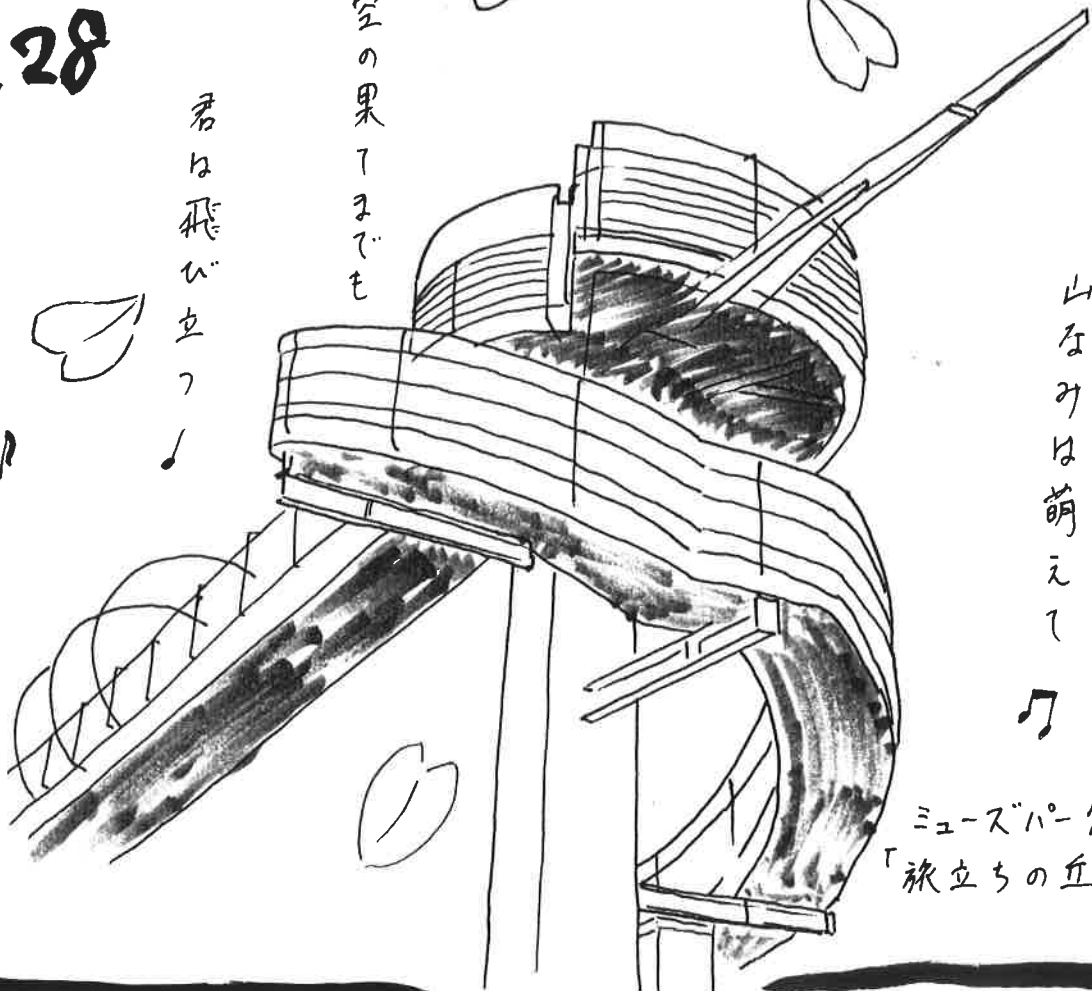
♪ 遙か空の果てまでも

♪ 君は飛び立つ

♪ 白い光の中に

♪ 山なみは萌えて

ミュージック  
「旅立ちの丘」



## コーラスボランティア

2月15日、社会福祉法人清心会の施設にて、コーラス大滝の皆さんとミニコンサートを行いました。コンサートでは昨年末から練習してきた合唱曲を披露したほか、じんけん大会や「さよしのズンドコ節」のカラオケを行いました。また、「旅立ちの日に」を歌う際には、施設の皆さんと一緒に歌いました。

## 樹液採集

2月は秩父地域の各地を回り、カエデ樹液の採集をお手伝いをしました。大滝地域や橋立などにおける樹液の採集は、秩父樹液生産組合やNPOの秩父百年の森林の皆さんが中心となり、林業の新たな資源として活かしていくために行われています。

樹液はカエデの幹に穴を開け、タンクを設置し採集します。樹液の採集はとても大変です。まず、カエデが植わっている所まで、急斜面を登らなければならない。またタンクは多い時は20リットル以上溜まっていることもあり、それを担いで山を降りるのは一苦勞です。

施設の皆さんにとって「さよしのズンドコ節」のカラオケが一番楽しかったようで、アンコールもかかり最後は皆さんと踊ったり、合いの手を入れたりして楽しめました。福祉施設でのコンサートは初めてでしたが、施設の皆さんが喜んでくれて、自分自身も楽しく歌えて、とても充実したひと時でした。今後もこういった活動には積極的に参加したいと思っています。

樹液の採集は3月までですが、その後も間伐地の整理や、カエデの植栽等の手伝いを通して、林業活性化の一助になれたらと思います。

## カエデの樹液について

カエデとは、秋に紅葉するイロハモミジやイタヤカエデなどの総称です。カエデの樹液はカラサウとしていて水の様で、飲むとほのかに甘く感じます。またカエデの種類によって風味が違います。樹液は煮詰めるとメイプルシロップになります。秩父では、地元で取れた樹液を使った商品が販売されています。



Facebook  
ページも  
よろしく願います!



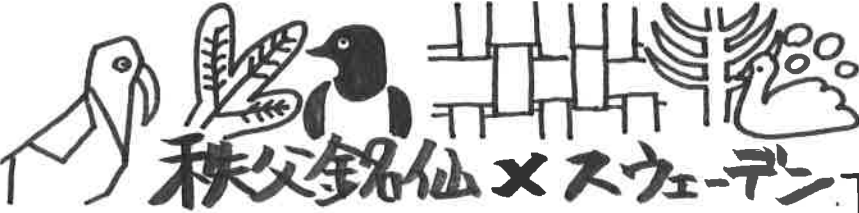
秩父市 地域おこし協力隊

文責：吉本 隆久

連絡先：秩父市大滝総合支所  
地域振興課

TEL: 0494-55-0862

Mail: ccb.localact@gmail.com



# 秩父銘仙メスウェーデン

秩父市では二〇〇七年からスウェーデンのシエレ  
 フテオ市と産業界交流事業を行っています。この交流  
 の一環でシエレフテオ市在住のデザイナーと秩父銘  
 仙の工芸士で織物の共同制作を行いました。  
 デザインはスウェーデン、制作は秩父で行われ  
 ました。素材はスウェーデンで毛織物が盛んなこ  
 ともあり、絹だけではなくウールも使われています。  
 作品は着尺やストール、フランクットがあり  
 ほくし捺染技術で表現された北政デザイナーはどれ  
 も素敵は仕上がりです。  
 こちらは二月二〇日〜三日八日までちちぶ銘  
 仙館で展示を行っています。今後商品化も検討し  
 ていく予定です。私もスウェーデン柄銘仙着物欲しい  
 です！

里  
 ゴ  
 ゴ  
 ゴ

はたおと 秩父



スウェーデン柄銘仙

2/28 ~ 3/7  
 つるし飾りと銘仙展  
 開催中!

## ちちぶ銘仙館

各種 梁め織り体験や、秩父銘仙を  
 作る工程がご覧いただけます。  
 毎月第二土曜日は繭から糸をとるこ  
 も見れます！  
 体験予約はコチラ▶ 0494-21-2112

協力隊の お問い合わせはコチラ  
 秩父市役所 商工課  
 地域おこし協力隊  
 佐俣 葉津子  
 TEL: 0494-25-5208  
 MAIL: syoko@city.chichibu.lg.jp

## 絹のみちの祭典

@長野県岡谷市 1/30(土) 1/31(日)

以前富岡製糸場で第一弾を行った「絹のみちの  
 ロジエクト」の第二弾として、長野県岡谷市で各  
 産地がブース展示を行いました。今回秩父市は各  
 工房の紹介をエッセイにいただきました。他の産地で  
 は織物にこだわらずシルクを使った日焼け止めな  
 ど素材を活かした商品の紹介もしました。  
 翌日は岡谷シルク博物館の見学ツアーもありま  
 した。博物館内に製糸会社が入っていて、繭から  
 糸を取る様子を見ることが出来ます。サングの遺  
 伝子が入ったピンクの繭など現代の技術を使った  
 新しい取り組みもされていて、日本の絹文化はま  
 だまだ色々チャレンジできまなあと勇気もらい  
 ました。

# 秩父歳時記 3月

## ジャランポン祭り

開催日…三月十五日周辺の日曜日

秩父はお祭の多い町!! その一部を二紹介します◎

# 山田の春祭り

開催日…三月の第二日曜日

秩父地方で最初に小車の出る例大祭なので、春を告げる祭ともいわれています。

秩父市山田にある恒持神社の例大祭で厄除けと害虫駆除の祭です。上山田・中山田の屋台と大棚の笠鉾が神社の祭典に引き揃えられます。この屋台・笠鉾は江戸末期から明治期に地元の名匠とうたわれた荒木和泉や荒船飛騨により建造されたものといわれ、秩父市の有形民俗文化財です。二台の屋台では町内史を回して子供たちによる日本舞踊が披露されます。また、油が貴重だった時代の名残で車輪の軸に潤滑油の代用で葱をネジ込むそうです。



屋台の上



種見舞



ちよつと変わったお祭で、別名葬式祭ともいいます。秩父市下久那の公会堂で行われ、諏訪神社の春祭りに行われます。「ジャランポン」の名前はお葬式の時にすり合わせる鏡鉾(はようほち)の音を表したものです。

夕方からの酒宴後、道具箱を代用した棺桶に白無垢を着て頭に冠、両手に手甲をつけた男性が入れられます。その棺桶の上に「悪疫退散居士」の位牌をのせ、その前で風呂敷を袈裟代わりにした僧侶役が適当なお経を上げます。誂経が終わると棺桶を担いで行列を作って諏訪神社に送ります。

このお祭は昔村内に疫病が流行した際、村から悪霊を追いかけて治そうとした禊祓呪術が、お酒の力もあり真剣なものから時代と共にユーモアのあるお祭に変わると云われる、お酒好きは秩父らしいお祭です。



なむなむ...

一升瓶をかかえて棺桶に入ります

\*こちらは地域内で行われる小さいお祭です。